

# 学校から正規事務職員がいなくなる？ 「共同実施」の大リストラで教育は？

武蔵村山市と江東区でこの4月モデル実施が始まった都教委の「共同実施」とは？

◇都費事務職員は、週4日拠点校（7校程度の中の1校）勤務、自分の学校勤務は週1日だけ。  
◇全員がグループ内の全校を兼務し担当で拠点校で仕事。  
◇その他の連携校は、非常勤職員を配置。（25年度実施計画）

都教委は「事務職員の欠員補充が困難だから」などと言

っています。が、「共同実施」の本音は大リストラです。都がめざすのは「大分県型」です。そこで何が起きているのでしょうか？

◆教材は各校の要望がそろってから買うので、1か月前に頼む必要があるなど教育活動に様々な支障が出ています。

## ボーナス差別反対

「年に2回のボーナスを成績主義で競争させ、格差をつけて支給しよう」という、都当局の提案を3月末に、「引き続き協議」として、まずはストップさせました。なんと、再任用の方も含めて全員対象に差別支給しようという提案でした。

同僚よりボーナスを多くもらう競争ではなく、子どものために協力する学校・・・その願いを集めて都教組は取り組んでいます。

5月11日、都労連は従来通りボーナスを支給するように要求書を出します。これに合わせて都労連集会を開きます。職場から参加しましょう。

学校事務職員は、学校にいてこそ、行事や教科で必要なものを先生方の相談に乗った

りして、一番よいものを揃えることが出来ます。「少ない人でまとめてやればいい」というのでは、教育のレベルダウンは目に見えています。

このやり方は、正規の都費事務職員を大幅に減らしてその分を非常勤職員に置き換えていくことをねらっています。

今、企業の非正規雇用の拡大がワーキングプアーを生みだしています。「正規で働くのが当たり前」の運動と共同して取り組みます。

「校務改善推進プラン反対」と合わせて職場の要求を集めて取り組みます。

### 都労連集会

5月11日（金）午後4時  
都庁第2庁舎正面玄関前

## 支部大会に160名

4月29日、北多摩東支部大会が160名の参加で盛大に開かれました。

【発言では・・・】

『給食民間委託反対』

清瀬では、若いお母さんたちが、がんばって3200筆の署名を集め、2校先行実施になりましたが、共同の取り組みが広がっています。

小平では市内保護者数を上回る1万筆の署名などの運動が全校実施への道に待ったを掛けています。学習・要請など地域の方々と「安全・安心の給食を」の声を広げる元気な発言に大きな拍手。



『入学式が全市で午後』

三鷹では昨年度から小学校入学式が全市で午後から実施されました家で昼食を食べてから新入生は学校へ。

そのためか式の最中にトイレに行きたくなってしまう子（おもしろい）、卒園したばかりでウトウトと寝てしまう子の報告も・・・。「学校行事を市教委が画一的に変更するはおかしい。声をあげよう」の発言に共感の拍手。

【参加者の感想】

★増税のからくりや公務員攻撃の真相等勉強になりました。組合に所属し各地区の話を開かないと、学校の状況も打開できないと実感。大会のことを職場で仲間に伝えます。

